

市指定

所在地：今田町下小野原

もくそうせんじゅかんのんぼさつりゅうそう

## 木造千手観音菩薩立像

カヤ材の一木造で、彫刻したあとに前後に割り、内割りを施して再び寄せる割矧ぎ造である。像は彩色のない素地であるが、全体に赤みがかったている。

円光背を付け、頭上には髻の頂に仏面、ほかに十面を置き、胸前に合掌手、その下に宝珠手、両脇にそれぞれ19体の手を配している。

脇手、持物、天衣、足先、光背等は後補であるが、建武4年（1337）の造立年代のわかる優品として価値が高い。

当像は和田寺の本尊であり、本堂須弥壇内の厨子に安置されている。

南北朝初頭。像高108cm。

